「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 3 年 3 月 24 日

事	業	き名 称			-	子ども・	子育	て支	援会記	議運営	費 [子ど	֥	子育	て支援	会譲	美運営事業	 []			
予	,算	科目	款	3	民生費	貴	項	2	児	記童福:	祉費			1	児	童福	祉総務費		事業	番号	8
IIII	業	の種別	√ ī	市単独	祖 [] 補	助対象		市が	実施す	ることか	が法律等	等で氰	義務 何	けられ	ているも	。 の(T	市の上乗せ	あり)			
担	当辛	部署・課長	名			保育課				管理・給付係					課長名 榎本 豊						
この	仕	事は、どの	【施	策】	の課題を解	<u></u>	こめ0	り手段	没です	か。					施	策	番 号	2	2 -	-	4
【施	策征	名】 児童福	≣祉⊄	D推進	<u>É</u>										総	合計画書 59					
	0	誰(何)	を対	象に	しています					1 ●の対象数や量を、あられ						_		 象指标	票)		
	子と	ども・子育で	支援	会議	 委員					11,	人										
	→																				
													成果指	標)							
1	①F	市長に諮問る	された	案件	に係る議事等	等を検討する]]開催				Z * Z	179.7	
_					業計画の点権 のやくそく				→												
σ		育て憲章)を				Ve180 1.12															
仕事	Ļ	=																			
事の	_	そのため			ましたか。 資料作成を1									漂)							
	Žź	会議が円滑に			質科1F放を1 るように、2		が打ち	う合わ		云譲(4 🗆 1 🗇							
的	せる ③÷	を行った 当日の会議 ^達	≛備と	事務	局説明を行っ	った				-											
	4	議事録を作品	戈した	<u>:</u>		J,C			→												
		正副会長から 東大和市子と																			
										⑥東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・ 子育て憲章)の啓発活動をした											
						過去2年間 <i>の</i>															
	_					1	過去	つ任間	当の実	結		Ι	当	支任 度	F	T		中	 日標		
	_		_	_	単位	平成30				 1 年度	要実績			亥年度 2年度実	_	수 <u></u>	3和2年度E	成果		3年度[目標
2	÷	+42.45/14	<u> </u>	→		平成30	年度多	実績							€績					3年度日	目標
2	χ̈	対象指標	1	の数値		平成30	年度多				要実績 11				_					3年度[目標
指					直人	平成30	年度多	実績 11			11				€績					3年度[目標
指標		対象指標 成果指標	2	, の数値	直人	平成30	年度多	実績 11 5			11				E 11 4					3年度日	目標
指標の推	Þ	成果指標	2	, の数値 D目標	直 人 直 口	平成30	年度多	実績 11			11				· 注 括 11					3年度日	目標
指標の		成果指標	[2] (五) (日標(の数値 20目標 値設定	直人		年度9	実績 11 5 5	平成3		11				E 11 4					3年度日	目標
指標の推	F E	成果指標 目 標	2 2 目標(1年)	の数値 ひ目標 値設定 間に予	直 人 値 回 を	3容に応じ 会請	年度第一・た開作	美績 11 5 6 6 6	平成3 数 会請	3 1 年度 3 1 年度	11 5 5		令和 2	会議	11 4 4					3年度日	目標
指標の推	原 E	成果指標 目 標 舌動指標	2 2 目標(1年)	の数値 の数値 間に予 の数値	直 人 値 回 定の考え方 予定される内	3容に応じ 会議	年度す - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	美績 11 5 6 6 6 6 7	平成3 数 会請申	3 1 年度 議 1	11 5 5 50 20		令和 2	会議中	11 4 4 4 1 1					3年度日	目標
指標の推	原 E	成果指標 目 標 舌動指標 事 業 費	2 2 目標(1年)	の数値 の数値 間に予 の数値	直 人 値 回 定の考え方 予定される内 値 回	3容に応じ 会議 答申 3,22	年度第 た開 議 5 3,52	き続 111 5 5 6 0 0 24	平成3 数 会請 3,0	3 1 年度 議 1 申	11 5 5 20 566		令和2	会議答中,823	11 4 4 4 1 1 5,028	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	新和2年度目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	夏人数(令和:	x的には	
指標の推	序 E	成果指標 目 標 舌動指標 事 業 費 一般財源	2 2 目標(1年)	の数値 の数値 間に予 の数値	直 人 値 回 定の考え方 予定される内 値 円	3容に応じ 会議	年度第 た開 議 5 3,52	き続 111 5 5 6 0 0 24	平成3 数 会請 3,0	3 1 年度 議 1	11 5 5 20 566		令和2	会議 答申 ,823	11 4 4 4 1 1 3,028 3,028	*	和2年度目 作費の所要 して表わし	要人数で	令和:基本が、基本が、	を 的には きめなけ	t 計事に
指標の推	原 E	成果指標 計標 香 一般財源 特定財源	2 2 目標(1年 3 b (集	の数値 つ目標 値設定 間に予 の数値 ミ績)	直 人 値 回 を を え方 予定される内 値 円 円	3容に応じ 会議 答申 3,22	年度第 た開 議 5 3,52	き続 111 5 5 6 0 0 24	平成3 数 会請 3,0	3 1 年度 議 1 申	11 5 5 20 566		令和2	会議 答申 ,823	11 4 4 4 1 1 5,028	※	は は は は は は は は は は は は は は	語標	令和にはが表示している。	ト 的になける しょうしょ かいしょう しょうしょ しょうしょう しょう	まます。
指標の推移 3	月月月月日	成果指標 書 標 ・ 動指標 ・ 一般財源 ・ 特定財源 ・ 「うち	2 目標(1年 3 (集 (集	の数値 可能 で で の数値 で で で で を を を を を を を を を を を を を を を	直 人 値 回 記の考え方 予定される内 値 回 円 円 円	3容に応じ 会議 答申 3,22	年度第 	集績 11 5 5 6 6 6 6 7 8 8 9 11 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 10 10 10 10	平成3 数 会請 3,0	3 1 年度 議 1 申	11 5 5 20 566 566		令和2	会議 答申 ,823	4日 4日 4日 1日 3,028 3,028	※	は 本件費では の所 の所 の形 では の形 には の には の には の には の には の には の には の には の には には の には には には には には には には には には には	目標 人数でいい したでで時間 はたまでの時間	令和はなが表別はなが表別は外の	kinc に が い に に は け い と し て で 更 し て て う で う で う で う し て う で う し て う て う て う て う し て う し て う し っ て う し っ て う し っ し っ し っ し っ に う に う に う に う に う に う に う に う に う に	まます。
指標の推移 3経	月 日 対源 人件	成果指標 書 標 ・ 動指標 ・ 一般財源 ・ 特定財源 ・ 所要人類(7)	2 (<u>2</u>) (<u>1</u>) (<u>3</u>) (<u>3</u>) (<u>5</u>) (<u>5</u>) (<u>5</u>)	の数値 値設定予 の数値 ミ績) 者負担	直 人 回 値 回 を	3容に応じ 会議 答申 3,22	年度第 	き続 111 5 5 6 0 0 24	平成3 数 会請 3,0	3 1 年度 議 1 申	11 5 5 20 566		令和2	会議 答申 ,823	11 4 4 4 1 1 3,028 3,028	人人のでい人年時	和 2 年度 目標 では では では では できます では できます では できます では できます できます できます できます できます できます できます かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいしょう しゅうしゅう しゅう	日標 見しまで、時間 とませて、日間 の表すの。時間 は34	令和: 本が表間 基ーR で 到 10,000 1,300 F	いいのはなけるできます。	まます。
指標の推移 3	月 日 記 財源 人件費 (成果指標 書 標 ・ 動指標 ・ 事 業 事 一般財源 ・ 特定財源 ・ 「所要人数(項) ・ 所要人数(項)	② (D) 目標 (1) 目標 (3) (3) (4) (5) 受益 用任用	の数値 回目標度 間に予 の数値 に き 着 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	直 人 回 値 回 で 考え方 か で で で で で で で で で で で で で で で で で で	3 容に応じ 会請 3,22 3,22	年度第 ・ ・ ・ た開 ・ 1 2 3,5 2 2 3,5 2 (集績 11 5 5 6 6 6 7 8 8 9 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 11 12 12 12 12 12 12 12	数 会請 3,0 3,0	義 1 申 O8O,\$	11 5 5 20 566 566		令和22 1 1	会議 答申 ,823 700	4日 4日 4日 1日 3,028 3,028 3,000		新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で	相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P	令和:	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませます。だ
指標の推移 3経	月 日 河 財源 人件	成果指標 書 標 書 報 事 般 財源 一 所要 人 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	② (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の数値 値設定す の数値 音負払 ・ 高し、 で お も は い き は り に う の 数値 に う り に り り り り り り り り り り り り り り り り	直 人 回 回 で	3容に応じ 会議 答申 3,22	年度第 ・ ・ ・ た開 ・ 1 2 3,5 2 2 3,5 2 (集績 11 5 5 6 6 6 7 8 8 9 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 10 10 10 10	数 会請 3,0 3,0	3 1 年度 議 1 申	11 5 5 20 566 566		令和22 1 1	会議 答申 ,823 ,700	4日 4日 4日 1日 3,028 3,028		新和 2年度 度 大件」で場合、 件間では合、 費単単単 の表時単 (価価して) でははて で は で で は で で で で で で で で で で で で	相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P	令和:	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませます。だ
指標の推移 3経	月 日 記 財源 人件費(目	成果指標 事 標 事 般財源 特定財源 所要人数(F 所要人数(F 所要人人性) 所要人人性,	② 「包含」 ② 「包含) ② 「包含	の数値 で	直 人 回 回 で で で で で で で で で で で で で で で で で	3容に応じ 会議 答申 3,22 3,22	年度第 ・ ・ た開 ・ 記 3,52 2 3,52 (集績 11 5 5 6 6 7 8 8 9 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10 10 11 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 13 14 15 <tr< td=""><td>数 会請 3,0 3,0</td><td>義 1 申 080,8 080,8</td><td>11 5 5 20 566 566 1.0</td><td></td><td>令和22 1 1 1</td><td>会議 答申 ,823 ,700</td><td>4回 4回 1回 3,028 3,028 3,000</td><td>※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で</td><td>相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P</td><td>令和:</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>ませます。だ</td></tr<>	数 会請 3,0 3,0	義 1 申 080,8 080,8	11 5 5 20 566 566 1.0		令和22 1 1 1	会議 答申 ,823 ,700	4回 4回 1回 3,028 3,028 3,000	※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で	相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P	令和:	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませます。だ
指標の推移 3経		成果指標 書	② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	の数値間に予値間に予める。	直	3 容に応じ 会請 3,22 3,22	年度第 ・ ・ た開 ・ 記 3,52 2 3,52 (集績 11 5 5 6 6 7 8 8 9 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10 10 11 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 13 14 15 <tr< td=""><td>数 会請 3,0 3,0</td><td>義 1 申 O8O,\$</td><td>11 5 5 20 566 566 1.0</td><td></td><td>令和22 1 1 1</td><td>会議 答申 ,823 ,700</td><td>4日 4日 4日 1日 3,028 3,028 3,000</td><td>※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で</td><td>相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P</td><td>令和:</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>ませます。だ</td></tr<>	数 会請 3,0 3,0	義 1 申 O8O,\$	11 5 5 20 566 566 1.0		令和22 1 1 1	会議 答申 ,823 ,700	4日 4日 4日 1日 3,028 3,028 3,000	※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で	相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P	令和:	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませます。だ
指標の推移 3経	月 日 活 財源 人件費(目安) (成果指標 事 標 事 般財源 特定財源 所要人数(F 所要人数(F 所要人人性) 所要人人性,	② 目標	の数値間に予値間に予算を表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表	直 人 回 回 で き え た の で で さ れ る 内 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	3容に応じ 会議 答申 3,22 3,22	年度第 ・ ・ た開 ・ 記 3,52 2 3,52 (集績 11 5 5 6 6 7 8 8 9 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 11 12 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10 10 11 12 12 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 13 14 15 <tr< td=""><td>数 会請 3,0 3,0</td><td>義 1 申 080,8 080,8</td><td>11 5 5 20 566 566 1.0</td><td></td><td>令和22 1 1 1</td><td>会議 答申 ,823 ,700</td><td>4回 4回 1回 3,028 3,028 3,000</td><td>※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で</td><td>相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P</td><td>令和:</td><td>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>ませます。だ</td></tr<>	数 会請 3,0 3,0	義 1 申 080,8 080,8	11 5 5 20 566 566 1.0		令和22 1 1 1	会議 答申 ,823 ,700	4回 4回 1回 3,028 3,028 3,000	※「ついては、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、人名明で 「別は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	新和 2年度 目標では、 一番では、 一番で	相標 長人まで E 用 8 で A 2 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 3 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C 9 C P C P	令和:	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませます。だ

章)」の制定にも取り組んだ。

事	Ř	名	称	子ども・	子育て支援会	議運営費[子ども・	子育て支持	爰会議運営事	業]
担当部		・課長	名	保育	課	管理•給付	係	課長名	榎本 豊

5市	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
民等(第1期東大和市子ども・子育て支援事業計画の5ヵ年全体の評価を参考に「東大和市子ども・子育て未来プラン」の施策の推進をするよう答申されている。
の意見	
76	 (1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、
	TOOに事の実施にめたり、中民励制に取り組みなりたが。取り組化に場合、取組手法欄の種類がり留らを選択し、 取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
6	☑ 取り組んだ □ 取組手法:⑥ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
市民協	【取組手法の種類】 ① 取り組まない ① 共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
働	
	「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」を令和2年度に公表したため、その後の普及・啓発方法について、子ども・子育て支援会議委員とともに検討を行い、啓発に努めていく。
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)
	「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」を公表する市制50周年記念式典には、代表の小中学生にも参加していただくことを想定しているため、引き続き小中学校と連携が必要となる。
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。
課題	「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」の発表及び啓発活動において、小中学校の他子育てに関わる 市内事業者等と連携を図れた。
Æ	
	「東大和市子どもと大人のやくそく(東大和市子ども・子育て憲章)」の啓発活動には、引き続き小中学校他子育てに関わる市内事業者との連携が必要となる。
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)
	施策名: 児童福祉の推進
	☑ なっている □ 環境の変化等により成果が減少している □ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)
	□ 拡大 ☑ 現状維持 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止
9	【取組内容】
今後の.	啓発活動をしていくにあたって、憲章の内容を理解していただき、協力をもらえるよう事前の調整が必要となってくる。
方向	
性	校長会等への事前の協力依頼が必要となる。